

7 月 26 日：ベトナム株は決算発表を受け小動き

ベトナム株は小幅な上昇で取引を終えた。VN 指数は 1000 ポイントを超える前に 1000 ポイント手前で値固めすることを期待されている。

投資家は FRB の会合を前に潜在的なリスクを回避し、もしもの事態に備えているとあるアナリストは語った。

ホーチミン取引所の VN 指数は 993.35 ポイントで取引を終え、先週比 1.1% 上昇した。先々週には 0.71% ほど上昇していた。

先々週よりも指数は上昇したが、6 月 27 から 7 月 15 日までの動きに比べると鈍化していることは明らかだった。

7 月 15 日以降で、VN 指数は 2.14% ほど上昇している。

投資家は今週の世界的なイベントを警戒しているため、指数は緩やかなペースで上昇するだろうとアナリストは語った。

7 月 31 日に FRB は会合を開き、世界経済を支えるために、利下げを実施すると期待されている。

利下げは、直接間接を問わず、ベトナムを含む新興国への資金流入を加速させるとされている。

しかしながら、FRB は 2-2.25% だけ利下げをすることで、0.5 ポイントの利下げが期待されている中で市場を失望させるかもしれないと世界の投資家は懸念している。

また、世界の注目は米中貿易対話にも集まっている。世界の金融市場を不安定にさせるこの要因の行方に注目している。

世界市場は対話の結果を前に不安定な状況が続くだろうとペトロベトナム証券の Le Duc Khanh 氏は語った。

両国が妥協を許しておらず、投資家はこの結果に失望するかもしれないと同氏は警告している。

一方、第二四半期決算は、多くの大型株が決算を発表するシーズンにもうすぐ突入する。それゆえに、市場は決算次第で動くことになるだろうと語った。

VN 指数が 1000 ポイント付近で上下することはなんら不思議なことではないと同氏は語った。

決算への期待が VN 指数を 6 月末に大きく押し上げたが、結果はまちまちという状況になっている。

銀行セクターは第二四半期の好決算セクターの筆頭だった。ベトコムバンク (VCB)、TP バンク (TPB)、テクコムバンク (TCB)、アジアコマーシャル銀行 (ACB)、軍隊銀行 (MBB) などは第二四半期、上半期の利益が前年比上昇した。

しかし、その他の証券、石油ガス、不動産などのセクターは前四半期よりも低い結果を発表している。

例えば、SSI 証券 (SSI)、ホーチミン市証券 (HCM)、ベトキャピタル証券 (VCI)、VN ダイレクト証券 (VND) などは前年と比べ利益が減少した。

この結果が市場の低い流動性に繋がり、証券仲介と自己売買からの稼ぎを減少させた。

さらに、この決算が投資家心理を悪化させており、直近の上昇は単なる短期的な反発に過ぎないとアグリバンク証券の Pham Duc Hoang 氏は語った。

BIDV 証券のレポートによると、497 社、66% の企業が決算を発表している。

合計では 6.8% の増益で 21.2 兆ドン (9 億 1270 万ドル) だが、ベトコムバンクが大きな割合を占めた (6.75%) と同社は語った。

35% の企業が史上最高の決算を発表しているが、9% の企業は損失を計上している。

アナリストは、VN 指数は世界的なイベントを前に短期的には現在の水準で値固めが必要だと指摘している。

VN 指数にとって 1000 ポイントは大きな節目であり、決算発表が一巡した後には、5-10%ほどの調整をするかもしれないとのことだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。